

競技上の注意(個人戦)

審判長:八百野 真人

<ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 タイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームの上下を着用し、2023年度登録の日本卓球協会ゼッケンを着用する。
- 4 感染症対策として、本大会は次の事項を推奨する。
 - (1) ベンチのアドバイザーは、ダブルスは16決定戦から、シングルスは32決定戦から入ることができる。県大会出場決定戦も入ることができる。
 - (2) 試合前後の握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
 - (3) チェンジエンドは行う。
 - (4) 大会中にマスクなしで、大きな声で会話や応援等をしない。
 - (5) 競技中以外はマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。

<進行について>

- 1 タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 1日目の第1試合の審判は指定された選手(別紙)が行う。以降は、敗者審判による。
- 3 男子シングルス・ダブルス4回戦以降ならびに女子シングルス・ダブルス3回戦以降の敗者は進行席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 4 1日目は男女ダブルスのすべてとシングルス2回戦までの試合、2日目は残り全ての試合を実施予定とする。

<県大会出場決定戦について>

- 1 男子本戦トーナメント3回戦で敗戦した選手を対象に、県大会出場決定戦を実施する。
(県大会出場決定戦における枠数 男 S:48名、男D24ペア)
 - (1) 3回戦で負けた際、決定戦進行席に申告し、本部へ結果を持参し審判を行う。
 - (2) 審判後に決定戦進行席へ行く。
 - (3) シングルダブルとも2試合実施して決定する。
- 2 女子本戦トーナメント2回戦で敗戦した選手を対象に、県大会出場決定戦を実施する。
(県大会出場決定戦における枠数 女 S:8名、女D4ペア)
 - (1) 2回戦で負けた際、決定戦進行席に申告し、本部へ結果を持参し審判を行う。
 - (2) 審判後に決定戦進行席へ行く。
 - (3) シングルダブルとも2~3試合実施して決定する。